

高等部前期校内実習

高等部では、6月4日(月)から6月15日(金)までの2週間、校内実習を実施しました。この期間は、手工芸、窯業、木工、縫製、農業・サービスの5つの作業班に分かれ、1日を通して作業学習に取り組みました。1年生にとっては、初めての校内実習です。作業学習を2週間続けることによって、体力、気力を保ちながら仕事をする大変さを実感できたようです。校内実習をとおして、日頃の作業学習で身に付けてきた働く力や態度がより確実なものになり、社会に出るための準備として大切な学習になっています。

校内実習のねらいとしては、

- 長い時間、働く力を身に付ける。
- 正しくていねいに仕事を行う力を身に付ける。
- あいさつや返事、報告をきちんと行う力を身に付ける。
- 集中して行う力を身に付ける。

などがあります。それらを踏まえた上で、生徒は班ごとに自分たちで班の目標や個人の目標を考えて、目標が達成できるように努力していました。



スラッシュキルト
によるバッグの
製作 (縫製班)



木工製品の製作
(木工班)



皿の製作
(窯業班)



校内清掃
(農業・サービス班)



紙工製品の製作
(手工芸班)

最終日には校内実習報告会を実施し、作業班ごとに反省や出来高などを発表しました。発表する生徒達の表情からは、達成感や自信が感じられました。校内実習で頑張ったことは、今後の作業学習への意欲と卒業後の進路実現につながっていくことでしょう。

